

# 令和3年度 行政評価調書

## ■施策の概要

(第7次総合計画 基本計画 P.94～95)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ3 強味を生かした産業振興によるにぎわいのまち(産業振興)		
施策名	3-1 農林業		
所管部	産業港湾部	関係部	生活環境部
この施策の 目指すべき姿と その展開方向	<p>(第7次総合計画 基本構想 P.38)</p> <p>農地の高度利用により、生産性の高い農業の確立を図るとともに、札幌圏近郊の地理的優位性を生かした都市型農業の発展を目指します。</p> <p>このため、農業生産基盤の整備、施設栽培の促進や農業経営の改善、遊休農地の利活用を図るとともに、新鮮・安心・安全な小樽産農産物の普及拡大に努めます。</p> <p>林業については、自然環境の保全や水資源の確保など森林の持つ公益的機能を生かすため、森林の保全、整備に努めます。</p>		
市民アンケート 指標	小樽の農産物であることを意識して商品を選択する市民の割合	基準値	目標値
		36.2%	基準値より増

## ■施策の内容(小施策)

(第7次総合計画 基本計画 P.94～95)

小施策 及び 指標	(1) 農業経営基盤の強化		基準値	目標値
	指標	耕地面積	186ha	186ha
		認定農業者数	6件	20件
	(2) 市民に親しまれる地域農業の推進		基準値	目標値
	指標	市民体験農園の申込区画数	213区画	220区画
	(3) 森林整備の推進		基準値	目標値
	指標	森林面積	16,374ha	16,374ha

# 令和3年度 行政評価調書

## ■施策の評価(一次評価)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ3 強味を生かした産業振興によるにぎわいのまち(産業振興)					
施策名	3-1 農林業					
所管部	産業港湾部	関係部	生活環境部			
市民アンケート 指標	小樽の農産物であることを意識して商品を選択する 市民の割合	基準値	令和3年度	令和5年度	目標値	
		36.2%	40.4%		基準値より増	
市民アンケート 指標の推移	◎	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)				
各小施策の 指標の推移	指標		基準値	実績値	推移	目標値
	(1)	耕地面積	186ha	184ha	△	186ha
		認定農業者数	6件	6件	△	20件
	(2)	市民体験農園の申込区画数	213区画	170区画	△	220区画
	(3)	森林面積	16,374ha	-	-	16,374ha
指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)						
【一次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後 の方向性	C-2	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う			
上記特記事項	農業の基盤安定のため地域農業の担い手である認定農業者の普及は重要であるが、農業経営者の高齢化により認定農業者になりたがらない場合がある。このため若い世代や新規農業者などへも積極的にPRを行い、経営安定を図る必要がある。 また、森林所有者への植林支援事業である未来につなぐ森づくり推進事業(令和3年度から、豊かな森づくり推進事業へ改称)や森林の整備及びその促進に関連する森林環境譲与税では、その目的に沿った事業を確実に推進していく。					

## ■施策の評価(二次評価)

【二次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後 の方向性	C-2	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う		
上記特記事項	○市民アンケート指標から、小樽の農産物であることを意識して商品を選択する市民の割合が増加しており、更に地産地消の意識を高めるためには、小樽の農産物を今後も安定して供給できる体制の維持が必要と考える。 ○耕地面積は年々減少しており、認定農業者数も横ばいで推移している現状を踏まえ、就農者側の視点に立ち、新規就農者の人材確保や現農業経営者が引き続き経営が可能となるような支援や取組を進めること。 ○小樽産農産物の普及拡大については、令和3年度に実施する市内飲食店へのアンケート調査の結果を分析し、市内飲食店での利用促進につなげる取組を進めること。また、販売店における小樽産物であることの表示拡大も検討すること。				

# 令和3年度 行政評価調書(小施策検討シート)

## (1) 農業経営基盤の強化①

(第7次総合計画 基本計画 P.94～95)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	耕地面積		平成27年		186ha	186ha		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	185ha	184ha				
指標推移	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし) 指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 ⇒ ◎、実績値 < 標準値 ⇒ △)							
主な取組	★農地の確保、集積を図るため、農業生産基盤整備を促進(産業港湾部農林水産課) ★農業の作業負担軽減や生産性向上を目指すため、施設栽培の促進(産業港湾部農林水産課) ○鳥獣による農業被害への対策(産業港湾部農林水産課) ○小樽産農産物の付加価値化による高収益化に向けた取組(産業港湾部農林水産課) ○地域農業の担い手となる新規就農者の確保・育成に向けた取組(産業港湾部農林水産課)							
主な 予算事業等	① 名称(事業番号)		② 前年度決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 施設栽培促進事業補助金(00785)		② 1,249 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 施設栽培(ハウス栽培)の施設の近代化、グリーン化を実施し、農業者の負担を軽減し安定的な農産物生産を図る						
		⑤ 施設関連資材補助4件・パイプハウス付帯資材16件・被覆資材21件						
	2	① 農業経営改善事業補助金(00786)		② 366 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 施設栽培(ハウス栽培)での土壌改良、受粉作業などを実施し、安定的な農産物生産を図る						
		⑤ 連作障害対策12件・交配用蜜蜂導入10件						
	3	① 農業次世代人材投資事業補助金(03248)		② 6,000 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 農家の高齢化や担い手不足もあり、地域農業の衰退が懸念されることから、次世代を担う農業者の育成						
		⑤ 個人型1件・夫婦型2件						
	4	① 有害鳥獣駆除対策経費(00780)		② 1,530 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 農作物の被害防止のため、有害鳥獣の駆除を行う						
⑤ 捕獲頭数: エゾシカ135頭・アライグマ49頭・キツネ46頭・タヌキ133頭								
5	① 一般農道維持補修費(00782)		② 292 千円		③ 産業港湾部農林水産課			
	④ 運搬による収穫物の損傷を防止するため、農道整備を実施。							
	⑤ 補修依頼18件・再生路盤材150m <sup>3</sup>							
6	① 北海道農業担い手育成センター負担金(00784)		② 90 千円		③ 産業港湾部農林水産課			
	④ 農業を始めたいと考える様々な相談に対応し、農村での研修や体験実習の紹介、必要な資金の貸付など総合的な支援を行う。							
	⑤ 運営負担金							
指標推移の要因等	・農業者の高齢化に伴う離農や後継者不足により、農地面積は微減している。							
指標推移への対応	2	1: 各事業をこのまま継続して推進する 2: 予算事業等を改善しながら推進する 3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う						
対応の内容	< 対応の内容を箇条書きで記入 > ・耕地面積の減少を防ぐため、新規就農者の受入れや農業経営者、農業団体と連携を図り、農地の利用集積に向けた取組を行う。							

# 令和3年度 行政評価調書(小施策検討シート)

## (1) 農業経営基盤の強化②

(第7次総合計画 基本計画 P.94～95)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	認定農業者数		令和元年		6件	20件		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			6件	6件				
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 → ◎、実績値 < 標準値 → △)					
主な取組	○ 農業経営改善に取り組む認定農業者の増加に向けた取組(産業港湾部農林水産課)							
主な 予算事業等	① 名称(事業番号)		② 前年度決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 認定農業者の増加に向けた取組		② 予算なし 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 農業者の経営の改善・発展を目指すため農業経営計画を作成し、市が認定を行うことにより、税制の特例や融資支援が受けられる。						
		⑤ 令和2年度・継続認定1件						
	2	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	3	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	4	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	5	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	6	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	指標推移の要因等	認定農業者数が停滞傾向にあるが、その要因として、認定農業者のメリットを感じていない農家が多いことが考えられる。						
	指標推移への対応	2	1: 各事業をこのまま継続して推進する 2: 予算事業等を改善しながら推進する 3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う					
	対応の内容	< 対応の内容を箇条書きで記入 > ・認定農業者への支援措置を、ホームページ・広報等により農業者に広くPRするほか、農地補正調査時にパンフレットを送付し、認知度向上に取り組む。 ・引き続き農業委員やJAなどの関係機関との連携を図り、認定農業者増加に向けた検討をしていく。						

# 令和3年度 行政評価調書(小施策検討シート)

## (2)市民に親しまれる地域農業の推進

(第7次総合計画 基本計画 P.95)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	市民体験農園の申込区画数		平成30年		213区画	220区画		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			213区画	170区画				
指標推移	△	◎ :指標の推移は順調 △ :指標の推移は順調でない - :判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)					
主な取組	<p>★農産物直売所、公設青果地方卸売市場等を活用した小樽産農産物の普及拡大(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○市民体験農園や学童農園を活用した農業体験機会の確保(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○公設青果地方卸売市場の市場機能の維持(産業港湾部公設青果地方卸売市場)</p>							
主な 予算事業等	① 名称(事業番号)		② 前年度決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 小樽産農産物の普及拡大		② 予算なし 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 小樽産農産物の良さを知ってもらうために、市内飲食店に農産物の利用状況調査を実施。						
		⑤ 訪問件数6件 令和3年度は、市内飲食店へのアンケート調査を実施予定						
	2	① 市民体験農園		② - 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 市民等が自ら農作物を育てる機会を提供する。「おたる自然の村」管理経費の一部として実施(100千円)。						
		⑤ 土地賃借料						
	3	① 学童農園		② 予算なし 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 学童、青少年等に自然と農業に親しむ機会を与える。						
		⑤ 小学校低学年など、1,110人が体験						
	4	① 公設青果地方卸売市場定温庫冷蔵設備更新事業(3363、3549)		② 3,472 千円		③ 産業港湾部公設青果地方卸売市場		
		④ 老朽化のため故障が頻発した定温庫冷蔵設備を更新し、効果的な生鮮食料品の保存を可能とするもの。						
		⑤ 令和元年12月更新。令和9年11月までの96か月リース。リース料月額税抜き263,000円						
5	① 施設維持補修費(2783)		② 1,771 千円		③ 産業港湾部公設青果地方卸売市場			
	④ 市場棟西側衛生設備污水管の敷設替(公設青果地方卸売市場構内污水管敷設替工事)による流量の確保と冬季間の凍結に伴う逆流の防止。							
	⑤ 令和2年12月工事実施済み。							
6	①		② 千円		③			
	④							
	⑤							
指標推移の要因等	市民体験農園利用者の高齢化もあるが、周知不足も利用件数の減少の要因となっているものとする。							
指標推移への対応	2	1:各事業をこのまま継続して推進する 2:予算事業等を改善しながら推進する 3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う						
対応の内容	<対応の内容を簡潔書きで記入> ・市民体験農園の募集について、おたる自然の村事業に参画する協議会や同好会等に協力を依頼するなどし、周知を行うこととする。							

# 令和3年度 行政評価調書(小施策検討シート)

## (3) 森林整備の推進

(第7次総合計画 基本計画 P.95)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	森林面積		平成27年		16,374ha	16,374ha		
指標推移	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	-	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)		-	-			
主な取組	<p>★緑地環境の保全や水資源・森林資源の確保のため、森林の整備推進や保護・育成(産業港湾部農林水産課) ○北海道指定の環境緑地保護地区・自然景観保護地区・記念保護樹木について北海道との連携による保全(生活環境部環境課)【共5-1環境保全】</p>							
主な 予算事業等	① 名称(事業番号)		② 前年度決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 未来につなぐ森づくり推進事業補助金(02530)		② 732 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 市と道が連携し、水資源の保全、山地災害防止等の発揮に配慮した伐採後の植林等の支援を確実にこな い、森林資源の循環利用を促進させる。						
		⑤ 市内の伐採後の民有林人工林で、A=3.2haの植林を実施						
	2	① 森林環境整備事業費(03552)		② 10,462 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 森林環境譲与税を活用し、市域の森林を適切に管理するため、未整備森林の整備、森林機能の普及啓発、 木材利用促進等に取り組み、温室ガスの削減や災害の未然防止を目的とする。						
		⑤ 森林意向調査年次計画、モデル地区意向調査、遊歩道看板設置等						
	3	① 自然公園の保全		② - 千円		③ 生活環境部環境課		
		④ すぐれた自然の風景地を保護するとともに自然とふれあう環境づくりに努め利用の促進を図る目的で自然公 園を保全するもの。						
		⑤ ニセコ積丹小樽海岸国定公園の自然探勝路において清掃作業の協力をを行い、また、北海道が指定している 環境緑地保護地区・自然景観保護地区・記念保護樹木について北海道との連携により保全活動を実施し た。						
	4	① 北海道自然環境等保全条例に基づく事務の執行		② - 千円		③ 生活環境部環境課		
		④ 北海道が環境緑地保護地区等の区域内における無秩序な開発抑制を目的に設けている北海道自然環境 等保全条例及び同条例施行規則に基づき、事務委任を受けている市が届出事務を執行するもの。						
		⑤ 環境緑地保護地区等の区域内における工作物の新築等の行為の届出、記念保護樹木の現状を変更する 行為の届出などを受理。令和2年度は0件。						
5	①		② 千円		③			
	④							
	⑤							
6	①		② 千円		③			
	④							
	⑤							
指標推移 の要因等	指標は農林業センサスの数値(直近の実績値は平成27年の調査数値)のため、令和2年度の実績値は現在未公 表であり、算定不可であるが、高速道路、新幹線などのインフラ整備が市域で進んでおり、基準値より減少している ものと思われる。							
指標推移 への対応	1	1: 各事業をこのまま継続して推進する 2: 予算事業等を改善しながら推進する 3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う						
対応の内容	<対応の内容を箇条書きで記入> ・国の重要インフラ整備(新幹線等)が進行することで、森林面積の維持は難しいことから、森林の質的な向上であ る、循環利用の視点を持ち進める対応とするため、未来につなぐ森づくり推進事業、森林環境税を活用した未整備 民有林の事業などへ取組む。							